

2022 年度福祉職域管理栄養士・ 栄養士育成のための全国リーダー研修会

開催日時：2023年2月25日（土）

9：00～12：20 Web開催

2022 年度福祉職域管理栄養士・栄養士育成のためのリーダー研修会は、（公社）日本栄養士会福祉職域担当理事元家玲子氏より挨拶、2022 年度事業報告及び 2023 年度事業計画（案）が示され承認可決された。続けて福祉職域ビジョンについての説明と（公社）日本栄養士会常任理事（人材育成事業部長）渡邊啓子氏より「管理栄養士業務の社会性実現にむけて～キャリアアップの必要性について」の講演、2024 年度診療報酬・介護報酬同時改定についてと人材育成についての情報提供があった。

1. 2023年度事業計画（案）

〔基本方針〕

- 1) 地域共生社会の実現に向け、高齢者の自立支援・重度化防止を図り、科学的に効果が裏付けられた質の高い丁寧な栄養ケアサービスを提供するため、栄養ケア・マネジメントの質の担保と標準化を推進する。具体的な内容としては
 - ①専門管理栄養士、認定管理栄養士の取得及び配置促進
 - ②経験年数に応じたスキルアップ研修会の全国展開
 - ③施設入所サービスにおけるエビデンスの構築（リハ・口腔との連携、看取り、認知症対応、情報連携など）
 - ④通所系、居宅系サービスにおけるエビデンスの構築
 - ⑤機能強化型認定栄養ケア・ステーションの配置促進
- 2) 地域共生社会の実現に向け、障がい（児）者分野における栄養マネジメント体制を確立し、質の高い栄養ケアサービスを提供するため、質の高い栄養ケア・マネジメントの標準化を推進する。具体的な内

容としては

- ①専門管理栄養士、認定管理栄養士の取得及び配置促進
 - ②経験年数に応じたスキルアップ研修会の実施
 - ③施設入所サービス（児・者）におけるエビデンスの構築
 - ④通所系、居宅系サービスにおける栄養ケアのエビデンス構築
- 3) 地域共生社会実現に向け、保育所における管理栄養士による栄養ケアサービスの提供体制構築のため、管理栄養士による個別栄養ケアの実施。具体的な内容としては

- ①専門管理栄養士、認定管理栄養士の取得及び配置促進
- ②経験年数に応じたスキルアップ研修会の実施

〔事業内容〕

- ・福祉職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会（ライブ）
福祉の管理栄養士・栄養士活動を発展させるため、国民ニーズに関する課題に対応できる研修を行い、リーダーを育成する。
- ・高齢・Step00研修会
栄養スクリーニング・アセスメント・計画書の書き方の講義と演習
- ・高齢・Step0研修会（オンデマンド）
経験年数1～3年対象 食事観察、多職種連携、LIFE入力などについて詳しく学ぶ
- ・高齢・Step0（フォローアップ・ライブ）
Step0研修（オンデマンド）後のフォロー
- ・高齢・各種加算のとり方研修会（オンデマンド）

- 各種栄養関連加算について学ぶ
- ・高齢・各種加算のとり方研修会（フォローアップ・ライブ）
 - 加算のとり方研修（オンデマンド）後のフォロー
- ・地域共生セミナー（ライブ）
 - 地域共生社会における管理栄養士・栄養士の役割を理解し実践できる
- ・高齢・事例集作成
 - 介護分野の事例を収集し活用する
- ・障がい・Step00研修会（ライブ）
 - 栄養スクリーニング・アセスメント・計画書の書き方の講義と演習
- ・障がい・スキルアップ研修会（ライブ）
 - 加算の取り方の講義と演習
- ・障がい・事例集作成
 - 障がい分野の事例を収集し活用する
- ・児童・Step00研修会（ライブ）
 - 保育所における栄養ケア・マネジメントについて基礎から学ぶ
- ・児童・スキルアップ研修会（ライブ）
 - 食物アレルギーを基礎から学ぶ
- ・児童・事例集作成
 - 児童分野の事例を収集し活用する
- ・事業推進委員会
 - 各事業の推進のため企画および運営についての協議を行う。
- ・VCS（バーチャルコミュニティースペース）
 - リーダーへタイムリーな情報を提供するため・各ブロック連携強化（介護関連の研修会推進のための施策対応等含む）
- ・広報活動
 - 介護報酬にかかわるホームページ掲載原稿等の資料作成および更新、問合せ対応

2. 管理栄養士業務の社会性実現にむけて

～キャリアアップの必要性～

1) 業務の社会性とは 2) 栄養管理の記録重要性 3) 事例を通して学んだこと、栄養ケアプロセスと他職種連携・地域連携 4) 生涯教育の意義とキャリアアップの内容で講演された。

管理栄養士・栄養士という資格を使ってどのような社会性を実現するか。すなわち社会の一

員として国民の健康に役立つ。人は意識することで夢や願望を実現化させる。雇用の未来は、コンピューターに代替えされにくい仕事に栄養士がある。これからの社会に対応できる管理栄養士・栄養士にとって「雇用の未来」が描ける業務とはなにか？栄養管理の記録である。

栄養ケアプロセス、栄養管理プロセスを理解しデータに基づく栄養アセスメントを行い、具体的な数値を用い栄養評価を行うことが必須となる。また、栄養の診断、PES 報告を理解し、栄養介入計画を立案する。栄養管理から栄養支援に繋げる次のステージを見据えた視点の変化に着目し、ライフステージで変化するゴールを具体的な数値で示した設定とし栄養支援を行う。生涯教育は先ず基幹教育があり次に拡充教育（特定分野管理栄養士制度など）となっている。認定審査を経て、認定管理栄養士・栄養士の取得が可能です。管理栄養士・栄養士という資格を使って社会の一員として国民の健康に役立つ・社会に貢献できる専門職種になることで社会性を実現できる。社会の変化に対応するために必要な知識とスキル、人を動かせる＝できる専門職、共生社会に活躍できる専門職になろうと締めくくられた。

（文責 福祉 丸山香央理）